

まるやー

石垣市の女性と男性のひろば



文部科学大臣賞を受賞した八重山家庭婦人バレーボール連盟（辻野ヒロ子会長）は、地域におけるスポーツの健全な普及および発展に貢献し、地域体育の振興に大きな成果をあげたことに対して社会体育優良団体として受賞。当連盟は結成22周年を迎え、現在18チーム約300名の会員で組織。会長を中心に「ママのバレーで明るい輪」をモットーに地域に根ざしたスポーツ団体として活動。

主催事業の他、協力事業やボランティア活動にも積極的に参加。これまでに沖縄県社会体育優良団体賞、八重山地区交通安全協会表彰を受賞している。「今後も地域のスポーツ振興に貢献しがんばります。」と心の底から明るい皆さん。

No. 16

2002年秋季号

平成14年度 「男女共同参画週間」パネル展開催

その力 共に生かそう 参画社会

男女がお互いにその人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かれ合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に發揮することのできる男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画基本法が平成11年6月23日に公布・施行されました。そのことを記念して6月23日から6月29日までの1週間を「男女共同参画週間」として全国的に広報啓発活動が実施されます。

本市でも市民の理解と周知をはかるため6月24日から6月28日までの間、市役所玄関ロビーにおいて、基本法をやさしく解説した「イラストで学ぼう 男女共同参画基本法」と「女性行政1年のあゆみ」のパネル展示を開催しました。

また、八重山女性の翼の会も、男女共同参画週間にちなんで6月30日石垣市保健福祉センターにおいて、石垣市行政相談員で元校長の慶田盛安三氏を講師に「男女共同参画社会はわが家から」をテーマに講演会がおこなわれました。



21世紀は「男女」が「共同」して、
仕事に、学校に、地域に、家庭に「参画」していく時代。
男女を問わず「その力を共に生かせる社会」です。

◆男女共同参画社会基本法◆ (平成11年6月法律第28号)

男女共同参画社会を実現するための5つの基本理念が掲げられています。

① 男女の人権の尊重

男女の個人としての尊厳を重んじ、男女の差別をなくし、男性も女性もひとりの人間として能力を発揮できる機会を確保していきましょう。

② 社会における制度・慣行についての配慮

固定的な役割分担意識にとらわれず、男女が様々な活動ができるよう社会の制度や慣行について考えていくましょう。

③ 政策等の立案及び決定への共同参画

男女が、社会の対等なパートナーとして、いろいろな方針の決定に参画できるようにしましょう。

④ 家庭生活における活動と他の活動の両立

男女が対等な家族の構成員として互いに協力し、社会の支援も受け、家族としての役割を果たしながら、仕事や学習、地域活動ができるようにしましょう。

⑤ 国際的協調

他の国々や国際機関とも相互に協力して取り組んでいきましょう。

男女共同参画社会づくりは、政府や地方の公共団体、行政だけではなく、私たち一人ひとりの取り組みが必要です。男女共同参画に関する理解を深め、地域の実情に応じて、私たちの身近なできることから、男女共同参画社会を実現させていきましょう。

「男女共同参画講座2002」が開講

「自分らしく生きるために、あるがままの自分をみつめて、ありたい自分を探し確立する」をテーマに去る9月21日（土）大浜信泉記念館において開講式が行われ、川平永光石垣市収入役から激励のあいさつがあり、6回シリーズの講座がスタートしました。

第1回

男女共同参画社会がめざすもの

講 師：沖縄県広報アドバイザー 島袋秀光



県男女共同参画計画～DEGOプラン～の施策の中から女性の人権について話し、女性に対する男性の認識のなさ、また、女性も意識の変革が大事であることを示唆。みなさんが、地域で身近な問題から考えてほしいと激励。

第3回

高齢社会と介護保険（現状と課題）

講 師：石垣市介護長寿課長 新田幸市
看護師 後田多八生



高齢化社会とは、その国の65歳以上の高齢者が7%～14%を占めていることをいう。石垣市は15%を超えており、高齢社会です。2015年には4人に1人が高齢者となる「超高齢社会」が到来することを話した。また、後田多八さんはボケと痴呆の違いについて話し、男性も介護士としての仕事を選択してほしいと要望。

第2回

暮らしの中の身近な法律 (多重債務と自己破産)

講 師：司法書士 宮里徳男



県内の自己破産の特徴として、30～50代の中堅層が多く、うち96%がサラ金を利用。

目的は生活費、借金返済、保証等。解決法としては「法律を自ら守ること、そして相手にも法律を守らせることが大切で、司法書士、弁護士等専門家に相談することで必ず解決できる」とアドバイス。



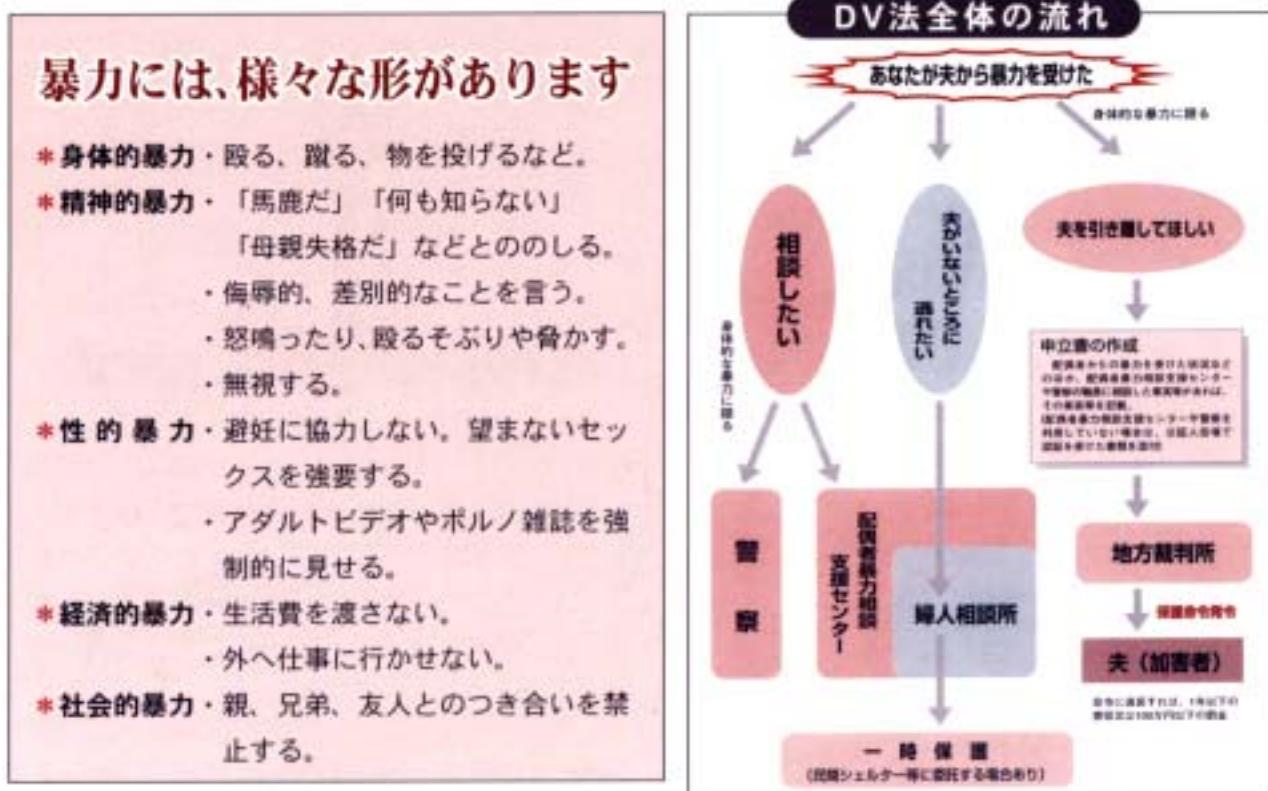
熱心に話を聞く受講生



平成14年度「女性に対する暴力をなくす運動」

夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、決して許されるものではない。男女共同参画社会を形成していく上で、地方公共団体、女性団体、その他の関係機関との連携、協力の下、社会の意識啓発など、女性に対する暴力の問題に関する取り組みを一層強化するとともに、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることを目的とする。

期間 平成14年11月12日（火）～11月25日（月）までの2週間
(11月25日は「女性に対する暴力撤廃国際日」)



女性に対する
暴力根絶のための
シンボルマーク



握りこぶしをクロスさせた両腕は明確な「暴力否定」を表し、目、鼻、口が一体となって「女性の人権と男女共同参画に対する意志と自覚」を表現しています。髪の毛は「意志の強さ」を形象している。

石垣市に女性相談窓口設置

相談員に 山里 節子さん

ひとりで悩まずにまず、相談を！

家庭内の暴力を外部に話すことは勇気のいることです。自分や子どもたちの安全や将来のために援助をもとめることは大切な権利です。

女性問題についてどんなことでもお気軽にご相談ください。

女性相談員が一緒に考え、支援します。秘密は守ります。

【相談時間】 毎週（火・水・木）
午前9時～午後4時30分
毎週（金）
午前9時～12時
★年末年始・祝祭日は休み

【相談場所・問い合わせ】
石垣市福祉事務所女性相談室
2-9911（内線296）



大原市長が山里さんに女性相談員を委嘱した。

女性問題キーワード No.10

★つきまとい（ストーカー）行為

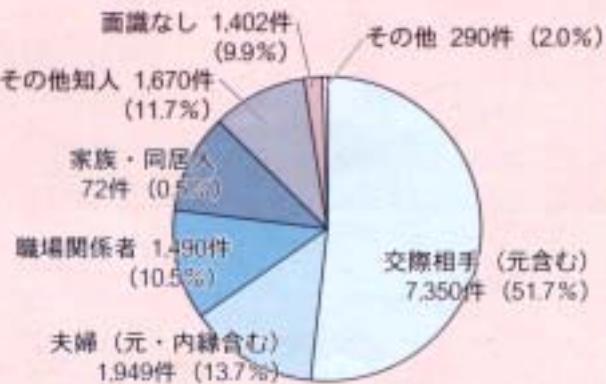
一方的に相手に恋愛感情や関心を抱き、相手もまた、自分に感心を抱いている（抱くようになるはずだ）と病的に思いこみ、執拗に相手をつけ回し迷惑や攻撃や被害を与える行為です。

つきまとい行為は、それ自体が被害者が平穏に生活することを害するものですが、行為が次第にエスカレートし、被害者に対する暴行、傷害、ひいては殺人事件まで発展した事例もあります。

平成12年11月に「ストーカー行為等の規制等に関する法律」が施行され、今後は、警察を始めとした関係機関に被害者が早めに相談することがのぞまれます。



ストーカー行為被害者と行為者の関係



注：関係が不明2,719件を除く

資料出所：警察庁調べ
(男女共同参画白書より)

ミズニュース

ミズ=未婚、既婚を問わず人権を重視した女性の総称。

おめでとうございます

石垣市議会議員に3期目当選のお二人と3人目の女性議員誕生

1948年（昭和23年）戦後初の市町村議会議員選挙が行われ、婦人市議会議員、宮城文・牧志つるゑの両氏が誕生。以後46年振りに女性議員が誕生したのが1994年（平成6年）9月です。

今回3期目当選を果たしたのが辻野ヒロ子議員と富里八重子議員のお二人です。そして有史以来3人目の女性議員上門孝子議員が誕生。女性の立場から安心して暮らせるまちづくりに期待も大きい。



辻野ヒロ子議員



富里八重子議員



3人目の上門孝子議員

第35回婦人の主張大会で県知事賞と沖縄テレビ放送社長賞を受賞



半嶺敬子さん 川平孝子さん

去る9月19日、琉球新報ホールで開催された第35回婦人の主張中央大会において、登野城婦人会の川平孝子さんが「元気に楽しく母ちゃんしています」と題して発表し、第1位である県知事賞に輝き、また、宮良婦人会の半嶺敬子さんが「島に生きる親の思い」と題して発表し、沖縄テレビ放送社長賞を受賞。八重山地区代表2人が上位入賞を獲得。



第6回 まるごーフェスティバル

平成15年3月22日(土)・23日(日)に開催予定です。

共に参加し、ネットワークの輪を広げませんか。

石垣市女性団体ネットワーク会議所属団体紹介

石垣市文庫連絡協議会

会長 潮平 俊

子どもたちに読書の喜びを！と願って、母親たちが自主的に活動をすすめてきた文庫が、市内に6カ所（かつては9カ所）あります。古いものでは、1983年（昭和58）に、新しいものでは1991年（平成3）に生まれました。子どもたちが楽しくスムーズに本の世界へ入れるよう読み聞かせやおはなし、人形劇など工夫をこらしながらすすめてきました。このような各文庫の活動の中から連絡協議会の要望があがり、1984年（昭和59）にこの会が結成されました。単位文庫ではできない講演会や学習会の開催など、幅広い読書推進活動を目的としております。今年は19年を迎えるが、結成以来毎年欠かすことなく児童文化講演会や文庫まつりのほか、市立図書館や幼稚園、小、中学校での読み聞かせやおはなしなどを実施してきました。一昨年からは長い間の課題となっていた「八重山の昔ばなしセミナー」も開催しています。

2000年の子ども読書年をきっかけに子どもの読書が国民的課題となってきました。文庫の火を絶やすことなく子どもたちのために、本やおはなしの世界への案内役として、まだまだ私たちの活動は続きそうです。



八重山地区婦人連合会

会長 小底 弘子



1957年（昭和32）に結成され、石婦連、竹婦連、与婦連の会員2,500名余りが「八重山は一つ」を合い言葉に住み良い豊かなふるさとづくりに向けて、女性の創意と情熱を結集し実践活動を行っています。主な活動に婦人の主張大会・美化コンクール・講演会・結核復十字シール普及活動・青少年問題を考える会・生活改善運動・平和運動等があります。また、今年45周年を迎え、記念事業として「折り梅」上映会を三市町で開催し老人介護について学習しました。

国際化、情報化、経済構造が限りなく変化する社会情勢の中で、いま、地域婦人会の必要性を感じています。男女共生の推進、心の時代にふさわしい地域づくりを目指して会員一同努力しております。

男女共同参画講座2002

プログラム

回	月 日	学習 内 容	学習方法	講 師	場 所
3	10/19(土) 午後 2:00~4:00	高齢社会と介護保険 現状と課題	講 話 話し合い	市介護長寿課 課長 新田幸市	大浜信泉 記念館
4	11/9(土) 午後 2:00~4:00	ストレスと健康 (自分に合った治療法で快適に)	講 話 話し合い	市健康福祉センター 保健師 長田節子	"
5	11/23(土) 午後 2:00~4:00	メディアが描きだす 女性像・男性像	講 話 話し合い	映画批評・劇評家 浦崎 浩實	健康福祉 センター
6	12/7(土) 午後 2:00~4:30	海外女性セミナー報告 閉講式	研修報告 話し合い	「女性の翼研修生」當山房子 広報広聴課	大浜信泉 記念館

*講師の都合等により日程が変更になる場合もあります。



復帰30周年記念事業 「女性達の30年」

日時 平成14年11月30日（土）午後1時30分～

場所 沖縄県女性総合センター「ているる」ホール



第1部 記念講演

講師：加賀美 幸子

アナウンサー（元NHK理事待遇）
千葉市女性センター館長

第2部 パネルディスカッション

コーディネータ 島袋秀光（沖縄県広報アドバイザー）

コメンテーター 新木順子（琉球大学等非常勤講師）

パネリスト 潮平俊（石垣市女性団体ネットワーク会議会長）

儀部葉子（前県女性団体連絡協議会会長）

荷川取ツル（株 丸三ランドリー相談役）

大城貴代子（元沖縄県生活福祉部長）

喜舎場直子（那覇教育事務所巡回教育相談員）

桑江純子（人形劇「かじまやあ」団長）



表紙紹介

まるざーは、八重山方言で円座を意味する。老若男女の別なく円座になって情報を交換し未来を語り合うことを象徴して命名しています。題字は、いしがきプラン推進委員の松竹ヨシさん。行政書士をしながら、ハーブシンフォニー八重山の世話人なども務め、島の環境問題にも携わる。